

プロフェッショナル ワークバランス

ハイジニストワークでつまずかないための

78の秘訣

土屋 和子 著

*Professional
Work
Balance*

医歯薬出版株式会社

02



なかなか覚えられないので 困っています

仕事がなかなか覚えられません。
先輩たちにも迷惑を掛けてしまっていて、心苦しく感じています。



 具体的に何が覚えられないのか、考えてみましょう

- 薬品の名前？
- 器材の収納場所？
- アシストワークの手順？
- 患者さんごとに適応させるハイジニストワーク？

\\HINT/



“人は忘れるもの”です

実は、人は忘れることで生きることができるのです。
嫌なことや辛いことは忘れないと（記憶を小さくしないと）苦しくて生きていけません。

05



患者さんが私の話を聞こうとしてくれない

TBIをしようとしても、患者さんが私の話を聞こうとしてくれません。

「早く先生に変わってください」と言われたこともあります。



何人の方に話を聞いてくれないと感じましたか？
何人の方にそのようなことを言われましたか？

何人かはわかりませんが、数人の人に感じました。

「早く先生に変わってください」と言われたのは1人です。

\\HINT/



自分の“思い込み”に意識を向けてみましょう

「患者さんが話を聞こうとしてくれない」と思い込むことの背景

人とのコミュニケーションにおいて、相手が自分を受け入れる様子が見受けられると安心して関わることができます。

笑顔の訓練——頬筋と眼

人を惹きつけ安心させることができるのは“笑顔”です。

もし、相手が“眉間にしわを寄せた陰しい表情”であれば、話しかけるのをためらうでしょうし、関わるのを避けようとするかもしれません。

心から楽しい時には自然に笑顔になれますが、笑顔になれないときもあります。歯科衛生士は患者さんに安心していただくために、笑顔になれない時こそ笑顔になる必要があります。

また、「自分の笑顔に自信がありますか？」との問いにほとんどの人が「ない」と答えます。笑顔も訓練です。自信のある笑顔になれるよう日頃から訓練しておきましょう。

ポイントは、頬筋と眼

- 1 口角を上げる時には頬筋の位置がもっとも高くなるようにします。
- 2 眼で笑いかけるように、細めます。ややたれ目になるくらいが安心感を与えます。

!重要!

電話に出る時も、まずは鏡を見て笑顔になってから受話器を取りましょう。

心情は声にも表れます。見えない相手であっても声の様子から表情を察します。

マスクをしている私たちは
目がこおいと…



たれ目になるくらいの
笑顔をつくると…



やさしく見える

ネガティブな言動にも深い意味がある

「私には無理だと思います」「たぶん良い結果は出ないと思います…」
何か新しいことを仕事に取り入れようとする、必ず反対意見を述べたり、行動に移そうとしない人がいます。

そのようなネガティブな言動の裏には、**自分を守る意図**も働いています。「無理だ」と宣言することで無理をしなくて済みますし、「良い結果は出ない」と宣言することで良い結果を出そうとしなくても済みます。

さらに深層では、「できない自分を知らなくて済む」「自分の判断は間違っていない」との意図があるかもしれません。

つまり、自分の労力を使わず自分を守ることができるのです。

そのような言動がある場合の対処の仕方として、「では、どうすればできるようになると思いますか?」「良い結果を出すにはどうすればいいと思いますか?」と、**相手のネガティブな感情をポジティブに向くように質問をすると効果的**です。

すべては、良い結果に結びつくことができるように自律した大人な対処をしたいですね。

